

## 図 書 室

西川 菜穂

臨床研修指定病院である当院は、一定レベル以上の充実した教育・学習環境の維持が求められ、昨今では、紙媒体の情報以上に、電子情報の提供が重視される傾向にあります。

しかし、現実的には、病院経営に必要な諸経費が高騰する中、図書資料にかけられる経費は年々縮小傾向で、毎年5%~10%の価格上昇がある外国雑誌の購読維持や、積極的な電子資料の導入が難しい状況です。病院図書室に求められる社会的な理想像と、さらなる図書経費の削減もやむを得ない「病院図書室の現実」には、大きな乖離が見られます。

かけられる経費の違いで生まれる「情報入手機会の格差」は世界中で問題視され、研究成果への無料アクセスを確保する「オープンアクセス化（ネット上での無料公開）」の動きが顕著となっていることで、無料でオンライン入手できる文献数自体は、着実に増加傾向にあります。

### 年間利用件数

2024年度の年間利用件数は928件で、昨年より176件減少しました。

資料別の利用比率は、例年通り雑誌の利用が全体の89%(冊子体82%+製本7%)と大半を占めています(グラフ1)。

全文データベースの導入や、オープンアクセス(無料公開)文献の増加により、オンラインでどこからでも手軽に文献収集が可能な環境となるにつれ、図書室内の紙資料の利用は年々減少傾向です(グラフ2)。

資料種別	貸出	複写	合計	前年比
書籍	96	7	103	+37
雑誌	725	33	758	-200
雑誌製本	3	64	67	-13
視聴覚資料	0	—	0	±0
合計	824	104	928	-176
前年比	-135	-41	-176	

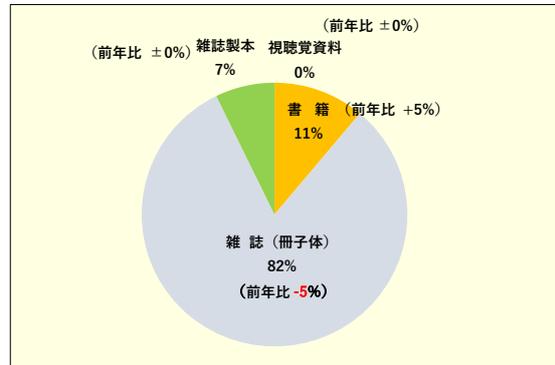
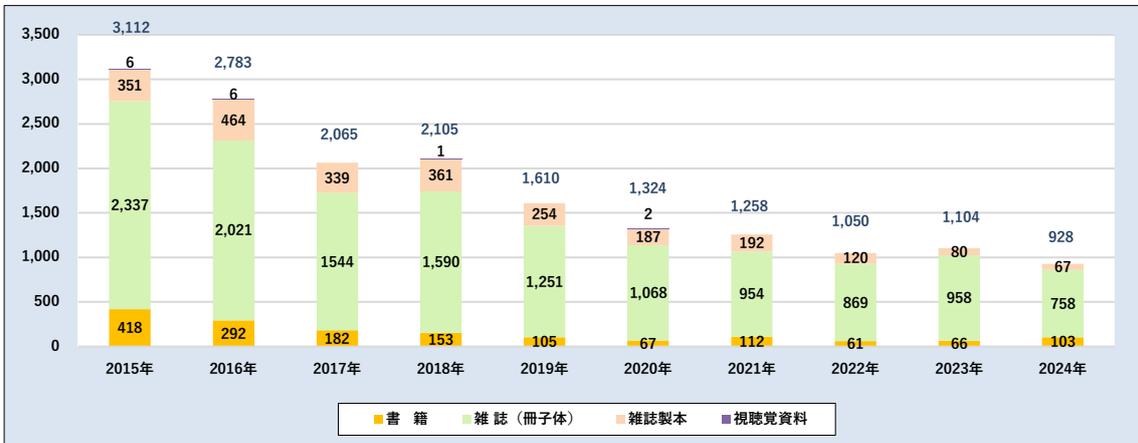


表 1. 年間利用件数 (資料別)

グラフ 1. 資料別利用率



グラフ 2. 年間利用件数の推移 (過去10年間: 2015年~2024年)

## 年間利用者数

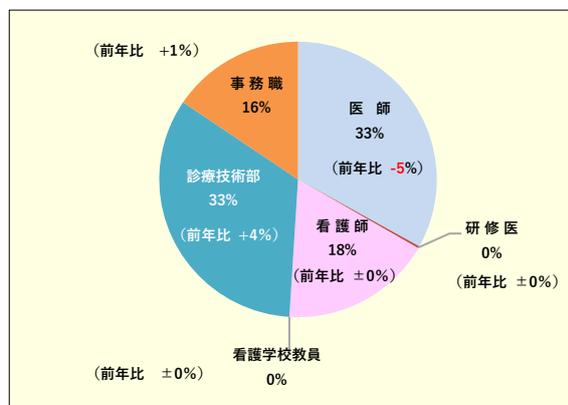
2024年度の年間利用者数は1,506名で、前年より160名減少しました。

職種別の利用比率は、医師が若干減少し、診療技術部の割合が増加しました（グラフ3）。

診療技術部内では薬剤師、放射線技師の利用が増加しましたが（グラフ4）、図書の利用自体は少なく、ほとんど新聞や閲覧テーブルの利用でした。

職種	院内	院外	合計	前年比
医師	460	38	498	-132
研修医	4	0	4	+1
看護師	255	11	266	-27
看護学校教員	0	0	0	±0
診療技術部	498	6	504	+14
事務職	232	2	234	-16
合計	1,449	57	1,506	-160
前年比	-116	-44	-160	

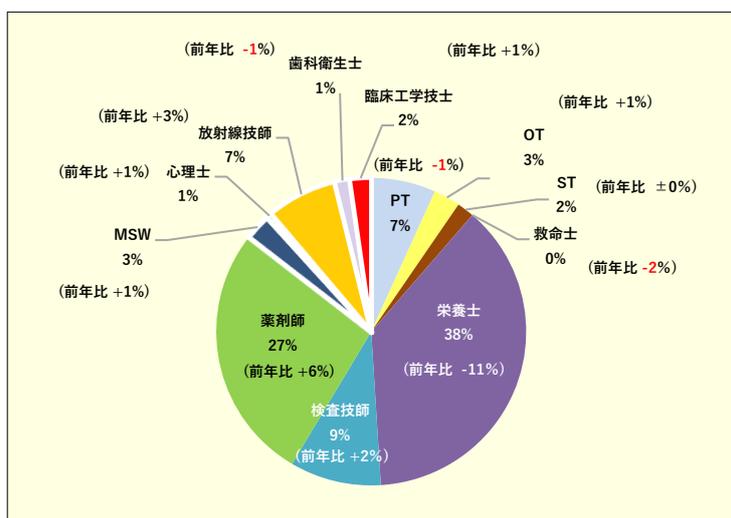
表2. 年間利用者数（職種別）



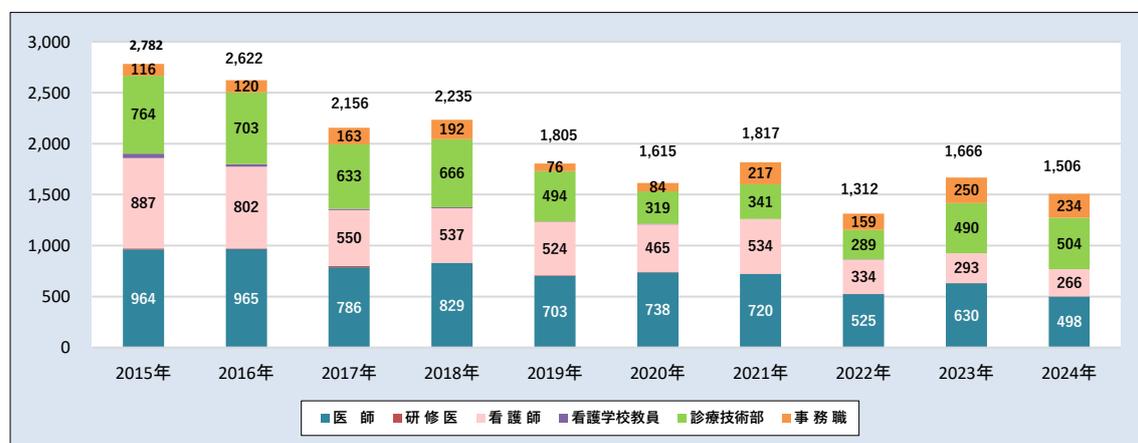
グラフ3. 職種別利用比率

職種	合計	前年比
P T	34	-4
O T	14	+7
S T	9	-1
救命士	0	-9
栄養士	190	-50
検査技師	48	+13
薬剤師	136	+31
MSW	14	+3
心理士	3	+2
放射線技師	37	+18
歯科衛生士	8	-3
臨床工学技士	11	+7
合計	504	+14

表3. 年間利用者数（職種別：診療技術部内）



グラフ4. 職種別利用比率（診療技術部内）



グラフ5. 年間利用者数の推移（過去10年間：2015年～2024年）

オンラインでどこからでも文献を入手できる環境となるにつれ、図書室の利用者数は年々減少しており（グラフ 5）、当室の需要は「場としての利用（閲覧テーブルやパソコンの利用）」がメインになりつつあります。

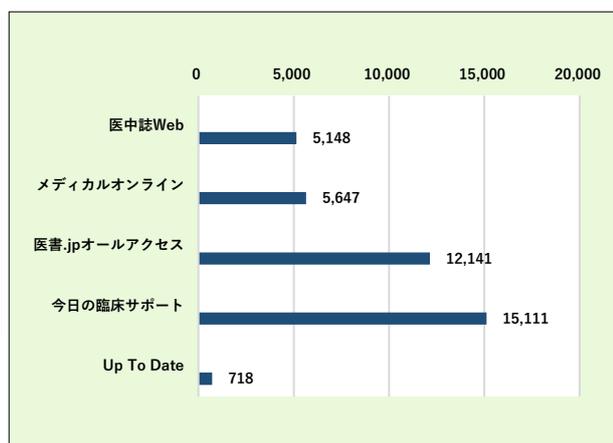
### 電子コンテンツの利用状況

電子コンテンツの利用件数は、昨年よりは減少したものの、紙資料に比べると高めを維持しています。

国内文献検索データベース「医中誌 Web」、日本語の診療サポートツール「今日の臨床サポート」の利用件数に増加が見られました。

コンテンツ名	利用件数	前年比
医中誌 Web	5,148	+1,010
メディカルオンライン	5,647	-864
医書.jp オールアクセス	12,141	-933
今日の臨床サポート	15,111	+1,071
Up To Date	718	-927
合計	38,765	-643

表 4. 年間利用件数（電子コンテンツ別）



グラフ 6. 年間利用件数（電子コンテンツ別）

コンテンツ名	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
医中誌 Web	5,701	6,458	6,299	5,814	5,767	6,991	4,232	4,138	5,148
メディカルオンライン	18,461	15,766	12,782	9,519	10,206	9,658	6,374	6,511	5,647
医書.jp オールアクセス	-	-	-	3,593	5,566	7,817	10,178	13,074	12,141
今日の臨床 サポート	-	-	-	-	-	7,415	9,593	14,040	15,111
Up To Date	2,050	907	-	-	-	-	338	1,645	718

表 5. 年間利用件数の推移（電子コンテンツ別：2016年～2024年）



グラフ 7. 年間利用件数の推移（電子コンテンツ別：2016年～2024年）

### 図書室間文献相互貸借件数

他院から当院への年間複写依頼件数は、148件(2023)→86件(2024)と大幅に減少しました。インボイス制導入に伴い、当院への文献代支払方法を「切手払い(支払手数料なし)」→「郵便振替(振込手数料別途)」に変更したことが、依頼減少の一因と推測されます。

当院から他院への年間複写依頼件数も、192件(2023)→178件(2024)と若干減少しました。文献のオープンアクセス化(無料公開)や、全文データベースの導入により、各自で入手できる文献が増えたことが、外注減少につながっていると思われます。

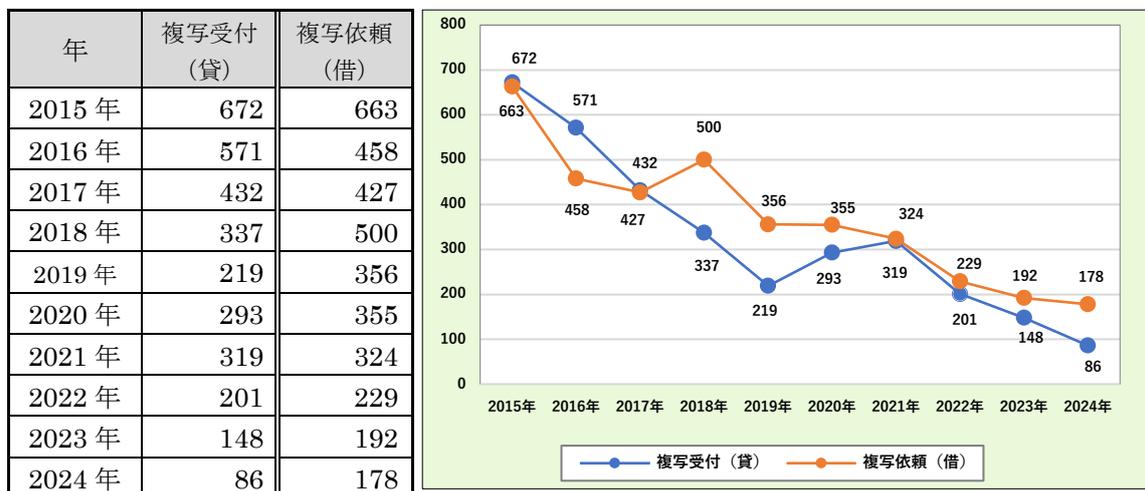


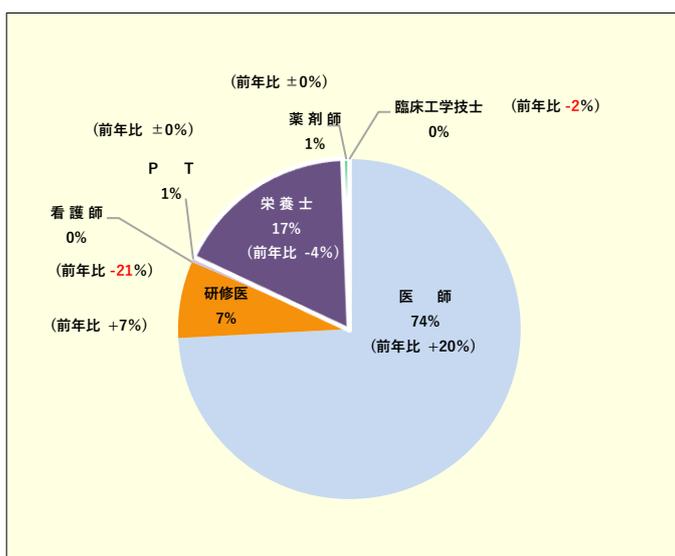
表6及びグラフ8. 文献相互貸借件数の推移(過去10年間:2015年~2024年)

### 文献取寄せ(外注)依頼件数

文献の取寄せ依頼件数は178件(前年比-14件)で、看護師の依頼が大幅に減少しました。医師については、依頼者数が前年とほぼ変わらない一方、依頼件数には増加(+29件)が見られることから、1人当たりの依頼件数が増加したことがわかります。

職種別比率では、例年通り医師が高い割合(74%)を占めました【グラフ9】。

職種	件数	前年比
医師	132	+29
研修医	13	+12
看護師	0	-41
看護学校教員	0	±0
P T	1	-1
O T	0	±0
S T	0	±0
臨床検査技師	0	±0
栄養士	31	-9
薬剤師	1	±0
放射線技師	0	±0
臨床工学技士	0	-4
事務職	0	±0
OB(院外)	0	±0
合計	178	-14



グラフ9. 職種別文献取寄せ依頼比率

表7. 職種別文献取寄せ依頼件数